

# 2018 年度 エルムアカデミー父母の会総会議案書

2018.6.2

品川区立荏原第 4 区民集会所

## 1. エルムアカデミー父母の会 会長あいさつ 小林 教春(旧高 3 父)

保護者のみなさん、日頃からエルムの活動への参加に心から敬意を表します。

エルムの父母の会は、交流と親睦を中心に活動してきました。エルムの行事を支えるためにも活動してきました。私が特に重視したいのは、子育ての悩みや疑問、喜びをみんなで共有しようということです。

子育ては、孤独なものに陥りがちです。特に今は、一般の学校で悩みや不安を共有することが難しい状況があります。競争的観念が父母・保護者を覆っていることが原因ではないかと思います。「うちの子は何でこれができないのだろう?」「よその子は勉強ができてみたい」など自らの子育てに悩んだり不安を持ったりします。それを孤独なものにせず、みんなで共有できることが重要ではないかと考えてきました。エルムの父母の会は、そうした意味で絶好の場です。役員会の終了後、居酒屋で子育てのことをよく交流してきました。その中で、自分には見えていなかったわが子の良いところがわかったり、またほかの子の優れた点がわかったりします。それはとっっても重要なことではないでしょうか? そうした子育ての本当の交流ができるところに、エルムの父母の会の優れた点があると思います。私も自分では気づかなかったわが子のさまざまな良いところを指摘され、認識を新たにすることがたくさんありました。

自分の子育てだけでなく、ほかの子どもたちの成長を喜び、確認しあう、それがエルムの父母の会の優れたところだと思います。

私はこれでエルムを卒業になりますが、同じ学年の父母とのネットワークもあらためてつくりました。

子育ては「自分育て」でもあります。自らの成長を図ることなしに子どもの成長はありません。エルムではそれを共同してできます。そうした父母の会に、今後さらに発展していくことを願っています。

## 2. 2017 年度 行事報告

### 「ゆうゆう晩ごはん」 西川(大寿美)香子(小 6 母)

2017 年 7 月 1 日、平塚橋ゆうゆうプラザにて、エルム&ニレに関わる方たちと一緒に食卓を囲み、楽しく交流する初企画は、予想以上の大ヒット! なんと 100 人を超える人で集うことができました。

15 時に集まり、まずはみんなで「カレーづくり」。ですが、私は「ほお〜子どもたちが、晩ごはんをつくるんだあ〜。ありがたいわあ」と、のん気に誤解し、できあがった晩ごはんを食べに 17 時ごろにふわっと会場である平塚橋ゆうゆうプラザに到着し、なんとビックリ。みなさまが、エプロン&三角巾姿で、カレーの鍋を回しているではないか……。遅れを取り戻すため、ハンカチを頭に巻き、担当の調理台へ。やることはほとんどありませんでしたが、すぐに楽しくおしゃべりもでき、あっという間に馴染めました(まるで最初からいたかのよう

に)。

小学部特カリの発表会は楽しみにしていました。みんなの前で発表することが得意ではない ゆうさん(息子)が、無事やりとげることか……。しかし、心配をよそに、3択クイズも出し、正解発表もでき、前日のドタバタぶり(台本紛失!)も垣間見ず、楽しくできていました。ニレのスキー&田植えのスライド上映もよかったです。「スキーなんてうちはともても無理だよ」と思っていたのですが、初参加の子どもたちが見事に滑っている姿に、来年は挑戦してみるか……。という気持ちにもなりました。

で、やっぱり楽しかったのが、大人交流会です。冷蔵庫にしまっていた缶ビールを出して、お惣菜(エルム卒業生のお店「味蕾庵」)をおいしくいただき、自己紹介&フリー交流。感動したのは、エルム・ニレに参加する悩み多き現役世代をそっとバックアップしてくれている「エルムを応援する会」の人たちです。涙が出ます(ホントですよ!)。そして、エルマーたちを見てくれる先生やスタッフの姿に、自らの子育てを少々反省しつつ……。これからもいっしょに、つながっていこう、やっっていこう! と思う1日でした。

### 「合宿報告会」 渡辺 由美(高1母)

2017年9月30日(土)合宿報告会が品川区立中小企業センターにて開催されました。

家庭ではなかなか見られない子どもの姿・様子を見ることができるので、高校生・中学生の保護者の方々は楽しみにこの日を迎えました。

中3の息子は中1から合宿に参加して3回目ですが、いずれも途中までの参加でしたので、フル参加は今年が初でした。団をまとめる学年なので気合いも入り、夏休みに入ってから毎日のように団活動が行われました。時にはぶつかり合い、受け入れ合いしつつ合宿の日を迎えました。

合宿報告会ではビデオを見て教員からの説明も交えて、活動がよくわかるようになっています。ビデオは中学生の団長や高校生の合宿にかける熱い思いを語るシーンから始まり、授業の様子、スポーツ大会でキラキラとした子どもたちの姿、真剣に取り組む平和劇、楽しそうに笑う姿、一つの問題に涙を流しながら話し合う姿。

そのどれもが一生懸命!! 昨年とは違う息子の姿、そして仲間を感じて行動する子どもたちの姿に心打たれて、涙が溢れてきました。

ビデオ上映の後は、自由の森学園・理事長の鬼沢先生からお話をいただきました。鬼沢先生はエルムが自森で合宿を始めてからずっと見守り、エルムをこう語って下さいました。

「エルムの合宿では……」

- ・仲間を大切にしている。これは人を信用することにつながる。
- ・自分や人が語る言葉を大切にしている。
- ・自分と仲間の中で平和を考えることは、ゆくゆくは大きな平和をもたらす。

この3つのことが実践されている」

先生の言葉でより合宿の意義を良く理解することができました。

鬼沢先生のお話の後は、各学年毎に分かれて軽食を取りつつ懇談会となりました。保護者同士、意見交換をする貴重な機会となり、日頃、子どものことで不安に思うことを話し、みなさんと共有することで安心したり、スッキリしたりと実りあるひと時を過ごすことができました。

何より、中3として団をまとめる息子たちの姿に頼もしく、成長を感じられた会となりました。

## 「キャンプ報告会」 石崎 亜紀穂(小6母)

2017年10月6日(金)、大田区立馬込文化センターにて夏のキャンプ報告会がありました。

息子は3月からエルムに通い始めたので、もちろんキャンプも初参加でした。5年生なので今年は林間学校もありました。林間学校から帰って来て一日休んですぐのキャンプだったので「本当に行くの～？疲れて嫌になるんじゃないの～？」と意地悪く聞いたのですが、ぶれずに「大丈夫、行く！！」との答えだったので参加させました。三泊四日で少し長めだったので少々心配でしたが、本人は楽しそうにホームで手を振っていたので、安心しました。迎えに行くと、声がかれていたのが風邪をひいてしまったのかと思っていたら、夜の自己紹介でかなり張り切ったようでした。楽しそうで良かったです。

報告会ではキャンプの楽しい様子を見ることができました。楽しそうな川遊び、夜の出し物。マスつかみ大会では、最初なかなかつかめなかったのに、慣れてきたらみんなにギュウギュウつかまれて、マスもお気の毒な感じでした(笑)。

みんなで協力して食事作りをしている様子も見られました。地元の食材を調達している様子はドキュメンタリー番組を見ているようでした。

子どもたちがそれぞれ絵日記を見せながら楽しかったことや頑張ったことなど発表してくれました。6年生たちは、来年は中学生ボランティアとして参加したいと言っていて、立派だなあと感心しました。最後にキャンプファイヤーの時にも歌っていた高校生たちが作った「小さいこの場所で」という歌を子どもたちが歌ってくれて、ジーンと感動した報告会でした。

## 「親子もちつき」 守屋 喜久江(中3母)

エルム恒例の親子もちつきが2017年12月17日(日)に開催されました。小学部は特カリの活動発表、NIREは蒸しパン販売と焼き鳥販売、中1はフリーマーケット、中2はフリーマーケットとコーンスープ販売、中3はガトーショコラ販売、高校部は小学生や全体のサポート活動、エルムを応援する会はバザー、父母の会はオーナメント販売、しながわ若者サポートネットはクラッカー販売、今年初の参加の麵処はるにれはモチ入りスープ販売と子ども遊びコーナー、そしてエルムの先生の馬場くんのお母さんはバルーンアート(すごく上手でびっくりしました!)と盛り沢山の内容で、エルム横の遊歩道でスタートしました。

当日は、晴れていたのですが風が強くて寒いなの。中2のI君は、この寒い中、何故か超薄着で白い顔がいつにも増して白く、最後は青くなっていたような……と言うぐらい寒かったです。その気候のせいか初出店のはるにれのスープが飛ぶように売れ、負けじと中2のコーンスープを呼び込む声も白熱してきました。生徒のお父さんから「コーンスープに愛も入れてね！」という訳のわからないリクエストにも笑顔で応える店員(中2生徒)でした。私は焼き鳥とはるにれモチ入りスープ、ガトーショコラを食べましたが、どれも美味しかったです。焼き鳥を焼いていた教員の萩原直樹君が言うには、焼き鳥にお酒をかけるとより美味しくなるそうです。

私たち父母が作成したオーナメントは強気の価格設定で売り始めたら、売れ行きが今一つ。値下げしたら売れていき微妙な気持ちになりました。終盤に差し掛かると、中1の生徒のライブが始まりました。楽しくライブを聞いていたエルムの生徒たちでしたが、じっと聞いてると熱い演奏で心は熱くなりますが身体は寒くなり体を温めるには走るしかない、音楽を聴きながら走り回っていたようです。

そんなこんなのエルム親子もちつきでしたが、親子で楽しむことができるし、OBOGの方の参加もたくさんあり、来てくれた方全員が楽しめるイベントでした。つきたてのおもちもとても美味しかったし、来年もまた参加したいです。

## 「父母の会新年会」 小山 聖子(中3母)

2018年1月21日の日曜日、18時から荏原教室の向かい「餃子の魂」でエルムアカデミー父母の会の新年会を行いました。父母会役員の方をはじめ、父母の方、小学生、エルムの先生方、総勢31人が集まり、美味しい中華料理を食べながら親睦を深めました。普段かかわりのない学年の先生の話が聞けたり、高校受験真っ最中の親の方に高校選びで苦労している話、高校生の親御さんからは、お子さんの高校生活の様子など、参考になることがいろいろ聞けました。子どもが大きくなると親同士の交流も少なくなってしまうので、こういった機会にいろいろな学年の方と交流ができた楽しい会でした。

## 「小学部特カリ『そなエリア』見学 防災スタディツアー」 富岡 淳(小6父)

小5の息子(孝太郎、通称トミー)がよく防災の話をするようになった。エルムの特カリで防災を学んでいるからだ。その活動の集大成として、去る2月4日(日)、「そなエリア見学 防災スタディツアー」が開催された。どんなことをやってきたのか見てみようかと親として参加してみた。

当日、荏原町駅に集合したのは総勢40名。主役の小学生は6名なのに応援団がこんなに集まるなんてすごい。われわれはBグループ。小学生、中学生、高校生、大人の混合チーム。

会場への道中、中学生の山本しゅう君が息子の話し相手になってくれていた。先輩が後輩の面倒を見る良い伝統があると思った。しゅう君、ありがとう。

そなエリアでは、「東京直下72h TOUR」に参加した。地震発生後72時間の生存力をつけるための体験学習ツアーだ。ところどころでエルムの小学生が案内や説明してくれた。私は7年前の東日本大震災を思い出していた。あの時も電車は止まり、都心から5時間歩いて自宅まで帰った。東京直下の地震が起きたら、さらにパニックに見舞われるだろう。ツアーを通して強調されていた「自助」という言葉を強く胸に刻んだ。

その後、エルム小学生が企画した、防災の紙芝居、クイズ大会が行われた。今まで彼らが学んできた知識を駆使し、楽しみながら我々に重要なことを伝えようという企画だ。私も親代表でクイズに参加したが、みごとに不正解。学ぶことが多い一日だった。

帰宅してからは、息子を議長とした家族会議。緊急時の集合場所、備蓄の保管場所の確認などを行った。エルム関係者の皆さま、親子ともども貴重な体験の機会をありがとうございました。

## 「小学生進級とまとめ&お祝い食事会」 石崎 亜紀穂(小6母)

2018年3月4日(日)平塚橋ゆうゆうプラザにて「小学生進級とまとめ&お祝い食事会」が開かれました。今回はニレとエルムの小学生の合同で行われました。

ニレグループは先生方が担当の子どもたち一人ひとりの頑張りなどをそれぞれ紹介してくれました。そして、担当の先生から記念品をもらい一緒にパチリと記念撮影しました。ニレは低学年の子も多く、可愛らしかったです。

エルム小学部グループは1年間同じメンバーと一緒にテーマに取り組んでいたもので、さすがにチームワークがいいなと思いました。スターウォーズのテーマソングをハミングしながら入場してきて、特別カリキュラムの良いところなどを大喜利風に一生懸命にみんな紹介してくれました。そして授業でおこなった「ほめあい」で分かったお互いの良いところを発表しました。この「ほめあい」ってすごく良いなと思いました。息子は

去年の3月からエルムでお世話になり始め、そのときから一緒に活動してきたメンバーなので、このメンバーでの活動も最後だと思うと、成長を感じましたが寂しさもありました。まったく物怖じしない息子の堂々とした司会ぶりに「誰に似たのかしら？」と思いながら、とても楽しく見ていました。

そしてもう一つ初の試みは、みんなで食事をしながらお祝いしようということで、「お祝い食事会」も開催されました。この食事会の準備を西川(大寿美)さんと共に任命されました！！メニューは簡単そうだし、お祝いっぽいから「おにぎらず」に決定。具材もいろいろ考え、焼きそば・鮭・焼肉の3種類に決まりました。しかし、二人とも作ったことがなく、思ったより面倒で作るのに悪戦苦闘しましたが、保護者の方や中高生たちのたくさんの方々の協力で、お祝いらしく素敵に出来上がりました。余った焼きそばを見つけた子どもたちが「焼きそばくださ〜い」と言ってきて、「次は焼きそば単独で出した方がいいのかもね」と西川さんと苦笑いしました。楽しくあっという間の一日でした。個人的には食事会の準備が大変だったけど、やりきった感があって良かったです。

### 「中学部卒業とまとめのつどい」 渡辺 由美(高1母)

2018年3月18日(日)品川区立中小企業センターレクリエーションホールでおこなわれた「2017年度中学部卒業とまとめのつどい」は、エルムの先生による熱いバンド演奏にて幕が開かれました。いきなりのオープニングに度肝を抜かれましたが、歌を通して先生の子どもたちに向けた熱い想いがビンビンに伝わり、会場は一気に盛り上がり、エルムらしい幕開けとなりました。

中1、中2の生徒による寸劇などのクラス発表は、今の自分たちを表現したユニークな発表でした。高校部からは中3生へ前向きな高校生の明るいメッセージをいただき、これから挑む新生活に勇気と元気を与えてくれました。

そして、この「卒ま」では、私たち中3保護者は「我が子へのメッセージ」を贈ります。3月に入るとエルムからメッセージ依頼のお手紙をいただき、卒業への緊張が一気に増していきます。我が子に伝えたい想いを言葉にする……。じっくりと子どものことを考えるととても良い機会でした。保護者一人ひとりの想いが詰まった発表となりました。また、「高校生になっても不良にならないでください」というある父親からのメッセージには会場も和みました。

中3生からの発表はエルムでの活動、高校受験を通して、先生・親への感謝の念……。一生懸命考えて自分の言葉にしたものでした。先生方は新たなステージへと旅立つ子どもたちにエールをおくり、高校生が作った歌を歌って盛り上げました。

会場がみんなの想いであふれた、そんな会となりました。このようなあたたかい会を開催していただき、子どもたちは本当に幸せだと思います。そしてエルムアカデミーの一員でいられたことを感謝いたします。エルムでは子どもも親もいろいろなことを学び、体験し、貴重な日々を過ごさせていただきました。エルムの先生方、高校部、中学部の仲間たち！……。ありがとうございました！

## 3. 2018年度活動方針(案)

エルム父母の会は本音を語り合える場です。エルムと協力して子どもたちの成長のために努力します。

1. 子どもたちがエルムでどんな生活をしているかは親にとって大事なことです。

教員、父母と知り合い、エルムの教育と子どもたちのことを話し合しましょう。

2. 父母の要望や意見などを役員会に反映させ、エルムの教育内容や行事について、教員とともに話し合  
いましょう。
3. 父母同士、あるいは父母と教員で悩みを語り合ったり、相談し合ったりするなど交流を深めましょう。  
特にクラス、学年同士の交流をすすめましょう。
4. その時々の方々の社会の情勢に合わせて、父母の要望に基づいたテーマを持って学習会・講演会をおこない  
ましょう。
5. 親子が共に参加できる行事を企画しましょう。
6. 小学生の父母が参加しやすい環境を整えましょう。
7. エルムの企画する行事に協力し、積極的に参加をしましょう。
8. 父母の会ニュースを定期的に発行し、活動をきちんと知らせ、情報交換をしていきましょう。
9. エルムグループを構成する「NPO 法人教育サポートセンターNIRE」や「麵処はるにれ」をさまざまな形で  
支え、応援しましょう。
10. 子育てや教育について、他の父母の団体や地域の団体と協力をしていきましょう。
11. 地域の教育条件、教育環境を改善するため、関連する取り組みへの参加を呼びかけましょう。
12. 父母 OB の集まりでもある「エルムを応援する会」と協力して、エルムを支える活動を進めましょう。

## 4. エルムアカデミー・父母の会年間行事予定

	ぜひ参加してください	父母も参加できます	父母は参加できません
4月	保護者会		
5月	中3親子進路学習会①		
6月	合宿キャンプ説明会 父母の会総会	NIRE 田植え	
7月	個人面談		
8月	小学部・NIRE 夏のキャンプ		中学部高校部合宿
9月	合宿報告会		
10月	キャンプ報告会 中3親子進路学習会②		
11月		NIRE 稲刈り	
12月	親子もちつき		中学部高校部スポーツ大会
1月	講演会・新年会 小学部特カリ企画		
2月	小学部・NIRE 進級とまとめの会		
3月	中学部卒業とまとめのつどい	NIRE 春のキャンプ	高校3年生をおくる会

# エルムアカデミー父母の会 慶弔見舞金規程

## 第1条（目的）

本規程は、エルムアカデミーの生徒とその保護者、スタッフに対する慶弔見舞金の支給について定めるものです。

## 第2条（支給手続）

慶弔見舞金の支給を受けようとする場合、父母の会の役員もしくはエルムアカデミーの代表または副代表に伝えることとします。

## 第3条（結婚祝金）

エルムアカデミーのスタッフが結婚する際、祝金として1万円を支給します。  
当事者がいずれもスタッフ従業員である場合は、双方に祝金を1万円を支給します。

## 第4条（出産祝金）

スタッフまたはその配偶者が出産したときに、1産児につき1万円の祝金を支給します。

## 第5条（本人死亡による香典）

エルムアカデミーの生徒とその保護者、スタッフが死亡した場合、次の香典を支給します。  
生徒・スタッフ・保護者 1万円

## 第6条（家族死亡による香典）

スタッフと生徒の家族が死亡した場合、次の香典を支給します。

父母・配偶者・子 5千円                      兄弟姉妹 5千円

（前の項目に規定する家族の範囲は、実父母・養父母・義父母・実子・養子、兄弟姉妹は本人の血族者に限ります。）

## 第7条（その他）

この規程に定めのないもの（たとえば、入院や災害など）に関しては、父母の会役員会の承認のうえ支給します

本規程は、2013年6月1日から施行します。

## エルムアカデミー父母の会規約（2008年規約改正）

### 第1条（名称）

この会はエルムアカデミー父母の会（以下「会」という。）と言い、事務局をエルムアカデミー荏原教室に置きます。

### 第2条（会員）

この会の会員はエルムアカデミーに在籍する父母および教職員団体により構成します。

### 第3条（目的）

子どもたちに基礎学力と人間的な発達を保障していくために

- ①父母・教職員が子育ての問題で話し合い、学び成長する場を作ります。
- ②会員の要望をまとめ、エルムの教育内容と地域の教育環境の向上をめざします。

### 第4条（役員）

- ①役員は総会で選出します。
- ②会には会長1名、副会長2名、会計1名、事務局若干名を置き、役員の間選とします。

### 第5条（役員任期）

役員の間任は総会から総会までとし、再任は妨げません。

### 第6条（総会）

- ①総会は年1回開催し、会員の過半数を持って成立します。
- ②総会は会計監査1名を選出します。
- ③総会の決議は総会出席会員の過半数をもっておこないます。

### 第7条（規約改正）

規約の改正には総会出席会員の過半数をもっておこないます。

### 第8条（会費）

一世帯、年額1500円とします。

### 第9条（会計年度）

この会の会計年度は4月1日から翌年3月31日までとします。

### 第10条（会計報告）

会計は総会において会計に関する報告をおこないます。

### 第11条（規約の施行）

この規約は2008年6月7日より施行します。（旧規約1987年9月26日施行）